

## 【別紙2-2】

～「学校における働き方改革」の取組目標～  
『私たちのピース・リスト2023』※学校が中心になって取り組む事項(23項目)

No.	取組事項	設定の理由 (必要性や課題等)	改善等に向けた アプローチ例	取組主体 ◎:中心的役割 県教委:県教育委員会 市町村教委:市町村教育委員会 その他:PTA等関係団体	目標期間			「3分類」に基づく 14項目との関連
					短期 (～R6)	中期 (～R8)	長期 (R9以降)	
	<b>1. 人材の確保</b>							
8	長時間勤務の改善	・長時間勤務により仕事のパフォーマンスが低下するだけでなく、脳血管疾患及び虚血性心疾患等の発症リスクが高まるため、改善に向けた取組が必要である。	【県教委・市町村教委】 ✓長時間勤務の要因の把握と対応 ✓2か月連続で月80時間を超える時間外勤務を行う教職員に対する産業医または教育委員会担当による面談の実施 ✓「健康づくりのための睡眠ガイド」(厚生労働省)の活用  【学校】 ✓校務分掌の見直し・平準化 ✓勤務時間の割り振りの工夫 ✓長時間勤務者と管理者との面談	◎県教委 ◎市町村教委 ◎学校		○		①～⑭全項目
9	労働安全衛生管理の充実	・各学校において、校内安全衛生委員会等を設置し、定期的に長時間勤務の状況報告や情報交換等を行っていくことが必要である。	【学校】 ✓勤務時間途中の休憩時間の適切な確保 ✓休憩時間中に会議等を入れない ✓職場内で相談しやすい人間関係づくりにつながる会話の時間の設定	・県教委 ◎学校	・市町村教委	○		
14	時間外在校等時間月45時間、月80時間、年間360時間以上の教職員の状況把握	・教育職員の時間外在校等時間の上限等を定めた教育委員会規則等を遵守する必要がある。  ・長時間勤務の是正に向けた勤務時間等の状況把握が必要である。	【県教委・市町村教委】 ✓時間外在校等時間月45時間、年間360時間以上となる要因の把握・分析 ✓在校等時間の適確な把握に基づいた支援  【学校】 ✓在校等時間の把握方法等を再確認	◎県教委 ◎学校	◎市町村教委	○		①～⑭全項目
	<b>2. 教育DXの推進</b>							
15	「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」(文部科学省)の各項目の検討	・ICTの校務活用等、GIGAスクール構想に基づいた効果的・効率的な校務DXの推進を図る必要がある。  ・出勤簿押印など日常的に行っている慣例的業務が見直されることなく続けられている。	【県教委・市町村教委・学校】 ✓教員と保護者間の連絡等のデジタル化 ✓教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化 ✓次世代の校務デジタル化に向けた環境整備 ✓押印・FAX等の制度・慣行の見直し  【校務DX化チェックリストURL】 <a href="https://www.mext.go.jp/content/20231227-mxt_jogai01-000033278_001.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231227-mxt_jogai01-000033278_001.pdf</a>	◎県教委 ◎市町村教委 ◎学校		○		③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整 ⑤調査・統計等への回答等 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備・運営 ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応
16	県立学校における年間指導計画とシラバスの見直し	・類似した計画等を整理する必要がある。	【県教委】 ✓年間指導計画への統一の検討 ✓シラバス作成義務化の見直し	◎県教委 ◎学校		○		⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理

No.	取組事項	設定の理由 (必要性や課題等)	改善等に向けた アプローチ例	取組主体 ◎:中心的役割 県教委:県教育委員会 市町村教委:市町村教育委員会 その他:PTA等関係団体	目標期間			「3分類」に基づく 14項目との関連
					短期 (～R6)	中期 (～R8)	長期 (R9以降)	
26	校務DX(校務支援システムの活用等)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務DXを推進し、業務の効率化を図る必要がある。</li> <li>・既存の校内支援システム等で業務の効率化につながる機能が使われていないことがある。</li> </ul>	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓会議資料のペーパレス化</li> <li>✓スケジュール管理のオンライン化</li> <li>✓教員と保護者間の連絡のデジタル化</li> <li>✓既存の校務支援システム等で業務の効率化につながる機能の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委</li> <li>・市町村教委</li> <li>◎学校</li> </ul>		○		④地域ボランティアとの連絡調整 ⑤調査・統計等への回答等 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備・運営 ⑬進路指導
27	通知表の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載する欄が多い等、各箇所の記載や押印等に多くの時間を要しており、負担軽減を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓最終学期のみの所見欄の記載</li> <li>✓通知表への押印の見直し</li> </ul> <p>【県教委・市町村教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓所見欄縮小などレイアウトの変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委</li> <li>・市町村教委</li> <li>◎学校</li> <li>・その他</li> </ul>		○		⑪学習評価や成績処理
<b>3. 業務の役割分担・適正化</b>								
29	年度末の事務処理及び新年度の準備時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末・年度始めの繁忙期の負担軽減を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【県教委・市町村教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓学校管理規則等の見直し</li> <li>✓始業式や修了式の日程の検討</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓柔軟な時間割編成の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎県教委</li> <li>◎市町村教委</li> <li>◎学校</li> </ul>	○			⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備・運営 ⑬進路指導
33	外部団体主催の検定試験の実施方法等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程外の検定試験実施に係る教職員の負担削減・軽減を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【県教委・市町村教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓複数校による共同実施の検討</li> </ul> <p>【学校・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓学校外での受験会場の活用</li> <li>✓検定試験監督のボランティアを募るなど教職員以外による実施・運営の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎県教委</li> <li>◎市町村教委</li> <li>◎学校</li> <li>◎その他</li> </ul>	○			④地域ボランティアとの連絡調整
34	小動物の世話や散水等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小動物の世話や散水等にかかる学校の負担軽減を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【市町村教委・学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓管理方法等の見直し</li> </ul> <p>【学校・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓保護者や地域ボランティア等が協力できる仕組みづくりの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校</li> <li>◎市町村教委</li> <li>◎その他</li> </ul>		○		④地域ボランティアとの連絡調整
35	放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間外における教職員の負担軽減を図る必要がある。</li> <li>・放課後の見回りや校外で児童生徒が補導されたときの対応により、放課後の教員の授業準備等の時間確保が難しい。</li> </ul>	<p>【県教委・市町村教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓放課後や夜間における児童生徒の問題行動を見かけ際の連絡先は、学校ではなく警察へ連絡する旨を地域等に周知</li> <li>✓補導の際、学校ではなく、まず保護者へ連絡するよう警察に要請</li> </ul> <p>【市町村教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓勤務時間外における音声ガイダンス機能付電話機等の活用</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓教職員の負担軽減に向けた関係機関との協議</li> <li>✓学校運営協議会等での協議等を踏まえた、地域学校協働活動の一環としての見回り等の実施</li> <li>✓勤務時間外の学校代表メール等の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委</li> <li>◎市町村教委</li> <li>◎学校</li> </ul>		○		②見回り、補導対応

No.	取組事項	設定の理由 (必要性や課題等)	改善等に向けた アプローチ例	取組主体 ◎:中心的役割 県教委:県教育委員会 市町村教委:市町村教育委員会 その他:PTA等関係団体	目標期間			「3分類」に基づく 14項目との関連
					短期 (～R6)	中期 (～R8)	長期 (R9以降)	
39	年間授業時数についての点検・見直し	・災害や流行性疾患による学級閉鎖等の不測の事態に備えることを前提に標準時数を大幅に上回って教育課程を編成している状況の改善が必要である。	【小中学校】 ✓標準授業時数を大幅に上回らない計画立案(年間35週以上、標準授業時間以上かつ年間授業時数1,086時間以下とする)  【高等学校】 ✓カリキュラム・マネジメントの視点に立った1単位あたりの年間授業時数の適切な確保	・県教委 ◎学校 ・市町村教委	○			
40	学校行事や会議等の在り方の見直しの推進	・行事や会議等において、学校としての体裁を保つためのものや前例のみにどらわれて慣例的に行っている部分の改善が必要である。	【学校】 ✓行事や会議の内容や方法、開催回数等の見直し ✓家庭訪問等の必要性の検討・見直し ✓児童生徒が企画・運営する行事等の検討 ✓学校行事の教育的価値の検討と精選・重点化 ✓準備の簡素化・省力化、実施時期の見直し	・県教委 ◎学校 ・市町村教委	○			⑫学校行事の準備・運営
41	校則等の見直しの推進	・生徒指導提要(改訂版)に基づいた校則・指導の改善を図る必要がある。	【学校】 ✓校則の在り方や考え方の再考 ✓生徒指導の取組の見直し	◎学校	○			
42	周年行事等の式典の見直し	・周年行事等の開催に係る業務負担を軽減する必要がある。	【学校】 ✓紙面あいさつ等による式典のスリム化・廃止 ✓運営主体等の見直し ✓Web配信等の活用 ✓クラウドファンディング等の活用の検討	・県教委 ◎学校 ・市町村教委 ・その他	○			⑫学校行事の準備・運営
43	学校におけるPTA活動の内容や役割分担等の見直し	・勤務時間外におけるPTA活動等における教職員の負担を軽減する必要がある。	【学校・その他】 ✓PTA役員会等で取組事項の検討等を議題化 ✓休日における活動の廃止・削減 ✓勤務時間外の会議等の廃止・削減 ✓役員選出方法等の見直し ✓オンライン会議の活用	◎学校 ◎その他	○			④地域ボランティアとの連絡調整
44	保護者、地域、首長部局等との連携協働体制の構築	・学校における働き方改革の取組の推進に向け、保護者や地域の理解促進と学校への支援が必要である。	【学校】 ✓学校運営協議会、学校評議員会、PTA会議等で働き方改革推進に関する取組内容の議題化、共通理解・連携協働  【県教委・市町村教委】 ✓総合教育会議等で働き方改革推進に関する取組内容の議題化、共通理解・連携協働 ✓管理職や教職員を対象とした研修会の開催	◎県教委 ◎市町村教委 ◎学校 ・その他	○			①登下校に関する対応 ②見回り、補導対応 ③学校徴収金の徴収、管理 ④地域ボランティアとの連絡調整 ⑫学校行事の準備・運営
45	市町村立小中学校における登下校に関する対応等の見直し	・勤務時間外の対応であり、教職員の負担軽減を図る必要がある。	【学校・その他】 ✓正門・玄関開錠時刻の見直し(保護者や地域住民の理解を得つつ、開門は登校時間の直前とするなど) ✓市町村立小学校における朝の活動の見直し ✓交通整理の人員配置の検討 ✓学校運営協議会等での協議等を踏まえた、地域学校協働活動の一環として、登下校の交通安全見守り等、人員配置の検討・実施  【市町村教委】 ✓開錠時刻・施錠時刻の統一	◎学校 ◎その他 ・市町村教委		○		①登下校に関する対応 ④地域ボランティアとの連絡調整

No.	取組事項	設定の理由 (必要性や課題等)	改善等に向けた アプローチ例	取組主体 ◎:中心的役割 県教委:県教育委員会 市町村教委:市町村教育委員会 その他:PTA等関係団体	目標期間			「3分類」に基づく 14項目との関連
					短期 (～R6)	中期 (～R8)	長期 (R9以降)	
46	教職員の地域行事等への動員等の見直し	・休日等の勤務時間外の動員等における教職員の負担を軽減する必要がある。	【学校・その他】 ✓ 教育課程への位置づけ(総合的な学習の時間等)の検討 ✓ 学校の負担軽減に向けた地域との協議 ✓ 勤務時間の割り振りの検討  【県教委・市町村教委】 ✓ 市町村等の主催団体への教職員の負担軽減や自由参加等の要請	◎県教委 ◎市町村教委 ◎学校 ◎その他	○			④地域ボランティアとの連絡調整
47	日常的な清掃・環境管理等の見直し	・休日等の勤務時間外における校内草刈り等、環境整備に対応する職員の負担を軽減する必要がある。  ・特定の教職員に負担が偏らない清掃体制づくりが必要である。	【学校】 ✓ 日常的な清掃については、必要箇所と頻度、管理方法について検討 ✓ 地域が協力できる仕組づくりの検討(勤務時間外での教職員が任意で参加できる仕組づくり) ✓ 清掃場所の担当教員のシフト制や教員業務支援員の活用  【県教委・市町村教委】 ✓ 外部人材が協力できる仕組づくりの検討  【市町村教委】 ✓ プールの施設管理や清掃の外部委託等、管理办法の改善について検討	・県教委 ・市町村教委 ◎学校 ・その他		○		⑦校内清掃
48	年間を通した柔軟な時間割編成(日課表)の工夫	・勤務時間内における教材研究や教育活動等の時間の確保が必要である。	【学校】 ✓ 年間指導計画の見直し・検討 ✓ 朝の活動や清掃活動等の設定の工夫 ✓ 勤務時間内に教材研究や部活動等が終わるよう、5校時の日程を増やすなど時間割編成(日課表)の工夫	◎学校	○			⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備・運営
49	部活動の適切な休養日等の設定	・児童生徒の健康確保や学習機会・私的時間の確保など、バランスのとれた生活を送れるようにしていく必要がある。  ・休日等の勤務時間外における教職員の負担を軽減する必要がある。	【学校】 ✓ 「部活動等の在り方に関する方針(改訂版)」等の遵守 ✓ 部活動の活動状況の把握	・県教委 ・市町村教委 ◎学校	○			⑧部活動
50	学校における部活動指導体制の工夫	・教職員の部活動に係る業務負担を軽減する必要がある。	【学校】 ✓ 複数顧問制、シフト制などの検討 ✓ 勤務時間内で部活動が終わるような練習メニュー等の工夫  【県教委・市町村教委】 ✓ 抱点校方式の検討 ✓ 近隣校との合同練習等の検討	◎県教委 ◎市町村教委 ◎学校 ・その他	○			⑧部活動

※ 特定の学校における課題等(特別支援学校における下校時の送迎車両の交通整理業務等)に関しては、改善に向けて引き続き検討していきます。

※ 「私たちのピース・リスト2023」(県教育委員会)

※ 全国の学校における働き方改革事例集(令和5年3月改訂版)Part2【文部科学省】

URL

[https://www.pref.okinawa.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_001/027/590/2024peacelist2023.pdf](https://www.pref.okinawa.jp/_res/projects/default_project/_page_001/027/590/2024peacelist2023.pdf)

QRコード



URL

[https://www.mext.go.jp/content/20230322-mxt\\_zaimu01-000028353\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230322-mxt_zaimu01-000028353_3.pdf)

QRコード

